

令和5年度病害虫発生予報第12号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
麦 類	うどんこ病 赤かび病 (防除情報第16号継続)	並	やや多 やや多
ばれいしょ	疫病 アブラムシ類	並 やや多	並 やや多
きゅうり	べと病 (防除情報第13号継続) うどんこ病 褐斑病 灰色かび病 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	やや多 並 少 並 やや少 並	やや多 並 少 並 やや少 並
トマト	黄化葉巻病 灰色かび病 コナジラミ類 (防除情報第18号)	やや少 並 やや多	やや少 並 やや多
いちご (本圃)	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類 アザミウマ類	並 並 並 やや少 並	並 並 並 やや少 並
たまねぎ (早生)	白色疫病 べと病 ボトリチス葉枯症 (防除情報第15号継続) ネギアザミウマ	並 並 多 やや少	並 やや多 多 並
果樹共通	カメムシ類 (防除情報第19号) クワゴマダラヒトリ	やや多 並	やや多 並
茶	カンザワハダニ クワシロカイガラムシ	やや少 少	やや少 少

【発生予報】 本文の( )内は平年値

**麦 類**

1. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査(大麦9筆、小麦15筆)の結果、大麦では発病茎率は0.0%、発生圃場率は11.1%(発生を認めない)であった。小麦では発生を認めなかった(過去10か年平均 発病茎率0.0%、発生圃場率0.7%)。

イ 3月3半旬の県予察圃場(無防除、諫早市)調査の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

ウ 3月3半旬の県作物研究室圃場(諫早市)調査の結果、大麦・小麦とも主稈葉数が多く、小麦では茎数もかなり多くなっており、両麦種とも繁茂状態であり、本病の発生に好適である。

エ 向こう1か月の気温は平年より高く、降水量も多い見込みであり、本病の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

圃場での発生に注意し、多発生が予想される圃場では防除を徹底する。

2. 赤かび病

令和6年3月8日付け病害虫発生予察防除情報第16号を継続。

なお、その後の各品種の出穂期については、下表のとおりである。

表 各品種の出穂期（長崎県農林技術開発センター、諫早市）

麦種	品種名	本年値 (予測日)		平年値	
		播種期	出穂期	播種期	出穂期
二条大麦	はるか二条	11/16	(3/10)	11/18	3/15
はだか麦	長崎御島	11/16	(3/20)	11/18	3/21
小麦	チクゴイズミ	11/24	(3/20)	11/26	3/28
〃	長崎W2号	11/24	(3/30)	11/26	4/3

注1) 平年値は過去5か年の平均値

本年値の出穂期は3月14日時点の予測値

注2) 出穂期：全茎の40～50%が出穂した日

穂揃期：全茎の80～90%が出穂した日

ばれいしょ

1. 疫病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(21筆)の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

2. アブラムシ類

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査(21筆)の結果、寄生株率は1.1%(0.3%)、発生圃場率は28.6%(7.4%)であった。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア アブラムシ類はウイルス病を媒介するので、発生初期から薬剤による防除を実施する。

イ 下位葉裏に寄生が多くみられるので、薬剤散布にあたっては葉裏に薬液が十分にかかるよう散布する。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統(令和5年長崎県病害虫防除基準P74～75の「作用機構による分類(IRAC)」参照)の薬剤を連用しない。

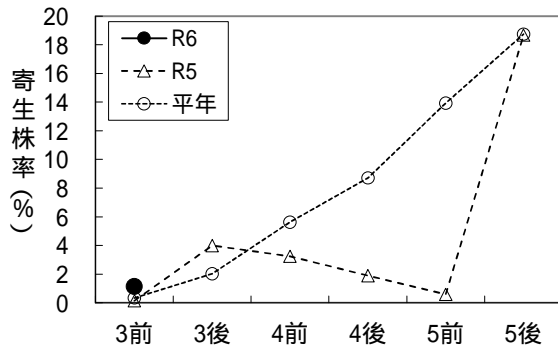


図 アブラムシ類寄生株率の推移

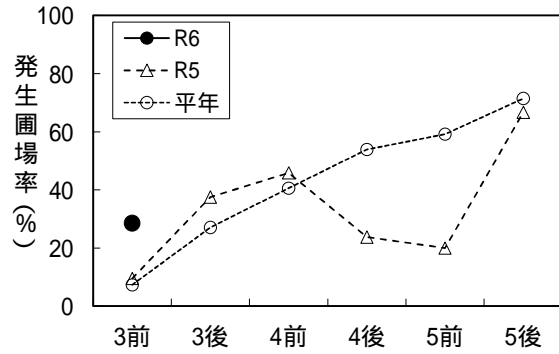


図 アブラムシ類発生圃場率の推移

**きゅうり**

1. ベと病

令和6年2月16日付け病害虫発生予察防除情報第13号を継続。

なお、その後の発生状況については以下のとおりである。

(1) 発生状況等

ア 3月前期の巡回調査(9筆)の結果、発病葉率は10.0%(6.1%)、発生圃場率は66.7%(40.3%)で、一部多発圃場が見られた。

イ 向こう1か月の気温は高く、降水量も多い見込みであり、本病の発生に好適である。

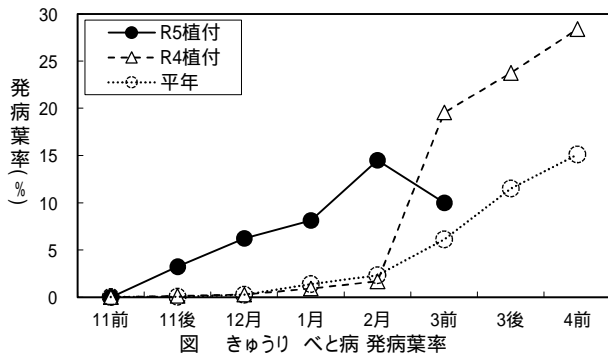


図 きゅうり ベと病 発病葉率

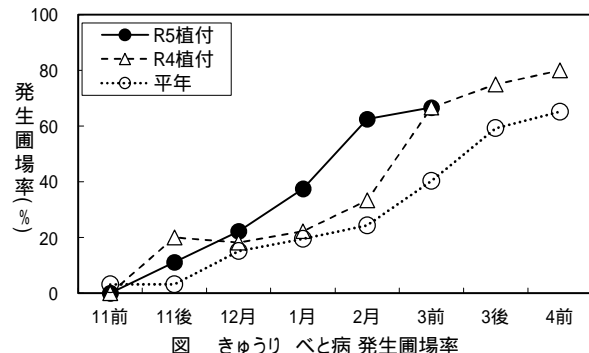


図 きゅうり ベと病 発生圃場率

2. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(9筆)の結果、発病葉率は7.2%(5.1%)、発生圃場率は66.7%(58.5%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(9筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.0%、発生圃場率1.0%)。

4. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(9筆)の結果、発病果率は0.2%(過去10か年平均0.0%)、発生圃場率は11.1%(同0.9%)であった。

5. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(9筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率3.0%、発生圃場率38.6%)。

6. コナジラミ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(9筆)の結果、寄生葉率は5.6%(1.3%)、発生圃場率は22.2%(25.6%)で、一部多発圃場がみられた。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 密度が高くなると防除が困難になるので、黄色粘着トラップを施設内に設置して早期発見に努め、発生初期に防除する。

イ タバココナジラミは退緑黄化病の病原ウイルス(CCYV：ウリ類退緑黄化ウイルス)を媒介するので、防除を徹底する。

ウ 退緑黄化病の発生が多い状態(3月巡回調査結果 発病株率61.3%、発生圃場率88.9%)が続いており、次作に持ち込まないように防除対策を徹底する。

エ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統(令和5年長崎県病害虫防除基準P156~159の「作用機構による分類(IRAC)」参照)の薬剤を連用しない。

オ 栽培終了後は施設の開口部を密閉し、日中の室温50℃以上を1週間以上維持し本虫を死滅させ、施設外への分散を防ぐ。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(9筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.4%、発生圃場率14.9%)であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(9筆)の結果、発病果率は0.0%(0.1%)、発生圃場率は11.1%(7.3%)であった。発病葉率は0.7%(0.7%)、発生圃場率は11.1%(22.2%)であった。

3. コナジラミ類

令和6年3月15日付け病害虫発生予察防除情報第18号による。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(27筆)の結果、葉での発生を認めなかった(過去10か年平均 発病株率0.0%、発生圃場率0.4%)。また、果実での発生も認めなかった(過去10か年平均 発病果率0.0%、発生圃場率0.4%)。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.1%(0.1%)、発生圃場率

は29.6% (13.5%)であった。

### 3. アブラムシ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.7% (0.8%)、発生圃場率は7.4% (10.2%)であった。

### 4. ハダニ類

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は2.1% (10.7%)、発生圃場率は33.3% (49.6%)であった。

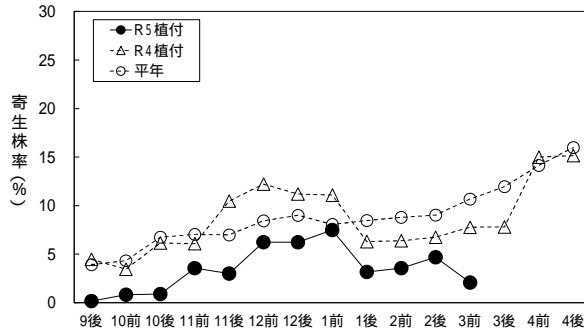


図 いちご ハダニ類 寄生株率

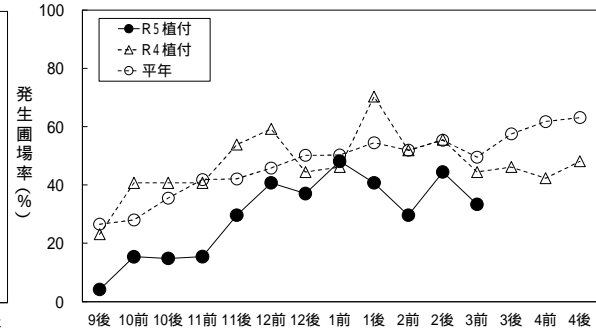


図 いちご ハダニ類 発生圃場率

(3) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見、早期防除に努める。また、防除効果を高めるため薬剤散布前に古葉を除去し、薬液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布する。

イ 薬剤の選定にあたっては、使用時期などラベルをよく確認し、ミツバチや天敵のカブリダニ類等への影響を考慮する。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統(令和5年長崎県病害虫防除基準P214~217の「作用機構による分類(IRAC)」参照)の薬剤の連用を避け、薬剤感受性低下の恐れが少ない気門封鎖剤や異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。

### 5. アザミウマ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生花率は2.4% (過去8か年平均2.6%)、発生圃場率は44.4% (同41.6%)であった。

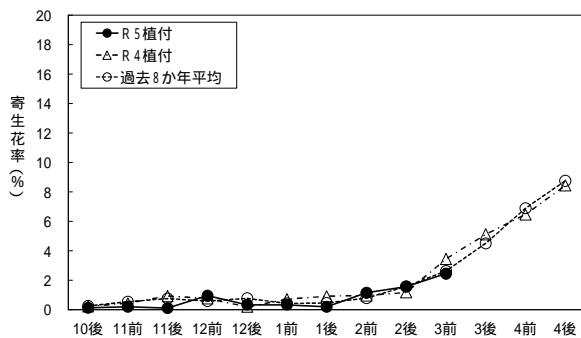


図 いちご アザミウマ類 寄生花率

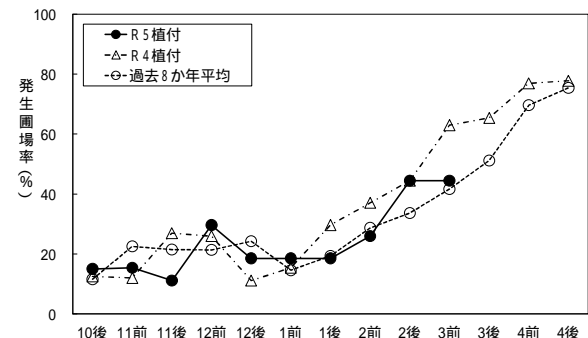


図 いちご アザミウマ類 発生圃場率

(3) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見、早期防除に努める。

イ 薬剤の選定にあたっては、使用時期などラベルをよく確認し、ミツバチや天敵への影響を考慮する。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和5年長崎県病害虫防除基準P214～217の「作用機構による分類（IRAC）参照」）の薬剤の連用を避ける。

**たまねぎ（早生）**

**1. 白色疫病**

- (1) 予報内容：発生程度 並
- (2) 予報の根拠

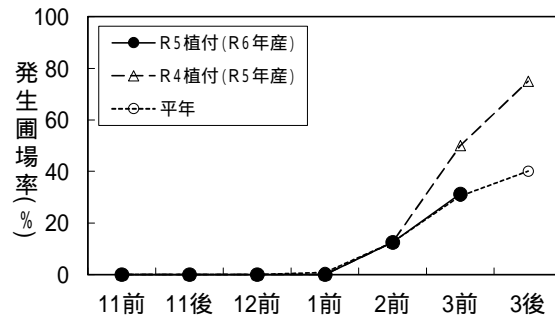
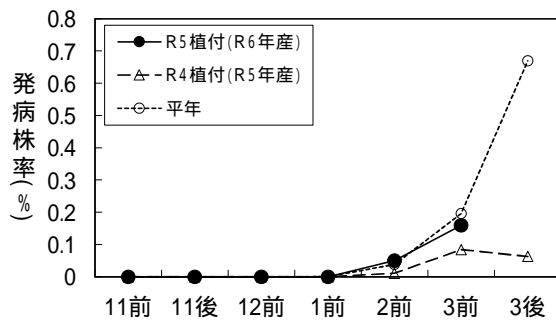
3月前期の巡回調査（16筆）の結果、発生を認めなかった（発病株率0.0%、発生圃場率0.8%）。

**2. ベと病**

- (1) 予報内容：発生程度 やや多
- (2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査（16筆）の結果、発病株率は0.2%（0.2%）、発生圃場率は31.3%（30.4%）で地域によっては多発圃場がみられた。

イ 向こう1か月の気温は高く、降水量も平年並か多い見込みであり本病の発生に好適である。



- (3) 防除上注意すべき事項

ア ベと病は条件が整うと感染と発病を繰り返し急激に蔓延するため、今後の気象情報等に留意し、一次感染株の発生が見られる圃場では早急に薬剤散布を行う。また、発病が見られない圃場でも降雨前に定期的な薬剤散布を行う。

イ 薬剤散布量が十分でないと効果が低下するので、薬剤には展着剤を加用し、株全体が濡れるようむらなく散布する。

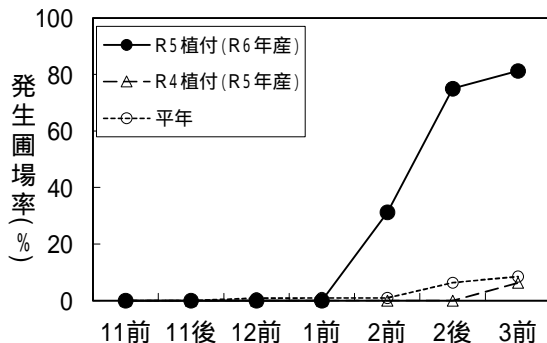
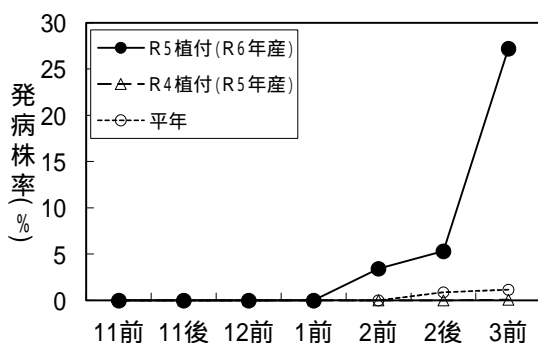
**3. ボトリチス葉枯症**

令和6年2月29日付け**病害虫発生予察防除情報第15号**を継続。

なお、その後の発生状況については以下のとおりである。

- (1) 発生状況

3月前期の巡回調査（16筆）の結果、発病株率は27.2%（1.2%）、発生圃場率は81.3%（8.5%）であった。



#### 4. ネギアザミウマ

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査(16筆)の結果、寄生株率は8.3%(19.4%)、発生圃場率は56.3%(57.6%)であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

#### 果樹共通

#### 1. カメムシ類

令和6年3月15日付け**病害虫発生予察防除情報第19号**による。

#### 2. クワゴマダラヒトリ

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

令和5年10月に実施した産卵樹上(アカメガシワ、カラスザンショウ)における幼虫巢の発生調査の結果、発生程度0.0(0.0)であった。

以下の基準により発生程度を達観で調査した。

調査基準：極多(5)、多(4)、中(3)、少(2)、極少(1)、無(0)

#### 茶

#### 1. カンザワハダニ

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.1%(2.2%)、発生圃場率は8.3%(36.1%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 2月下旬頃から産卵を始めるので、一番茶の被害を予防するためにも早春の防除を徹底する。

イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統(令和5年長崎県病害虫防除基準P428~431の「作用機構による分類(IRAC)」参照)の薬剤を連用しない。

#### 2. クワシロカイガラムシ

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(寄生株率7.6%、発生圃場率45.1%)。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 幼虫ふ化盛期(50%ふ化卵塊雌率が半数となった日)~ふ化盛期5日後までに防除する。

イ 株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。

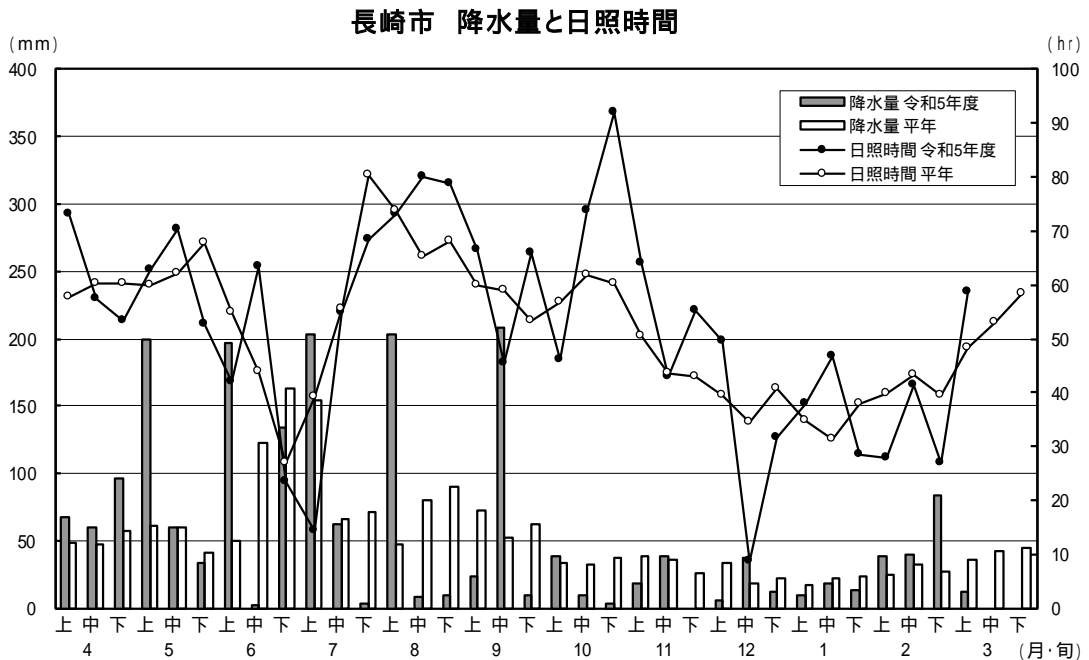
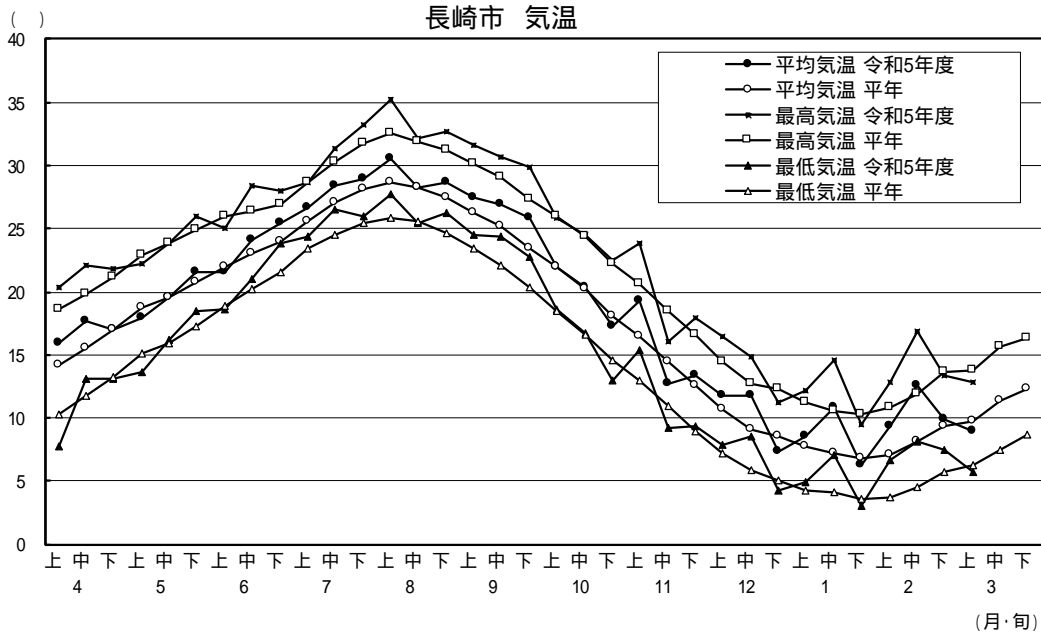
【参考】

(令和6年3月14日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	20	30	50
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

予報対象地域：九州北部地域

令和5年度の気象経過（長崎地方気象台）



長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。  
 「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室  
 (長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>  
 この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室 (長崎県病害虫防除所)  
 TEL : 0957-26-0027

